



I 第28週の発生動向 (2019/7/8~7/14)

1. 水痘については、五所川原保健所管内で**注意報**が発令されました。
2. 手足口病については、東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内で**警報**が発令されました。三戸地方+八戸市保健所管内、上十三保健所管内では**警報**が継続しています。また、五所川原保健所管内では定点当たり報告数が4.40となり、警報開始基準値(5)に近づいています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
3. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内では定点当たり報告数が1.83、五所川原保健所管内では1.60となり、警報開始基準値(2)に近づいています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
4. ヘルパンギーナについては、県全体の定点当たり報告数が2週連続で増加しており、今後の発生動向に注意が必要です。
5. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型3人でした。

II 第28週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	2	0.15									1	0.17	3	0.05	2
	RSウイルス感染症	1	0.13	3	0.33	1	0.10			1	0.17			6	0.14	0
小児科	咽頭結膜熱	2	0.25	1	0.11	6	0.60	4	0.80	1	0.17	3	0.75	17	0.40	5
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.63	5	0.56	18	1.80	4	0.80	6	1.00	3	0.75	41	0.98	-10
	感染性胃腸炎	13	1.63	20	2.22	50	5.00	35	7.00	10	1.67	10	2.50	138	3.29	-12
	水痘	1	0.13	2	0.22	4	0.40	6	1.20	1	0.17			14	0.33	-2
	手足口病	44	5.50	65	7.22	71	7.10	22	4.40	35	5.83	1	0.25	238	5.67	77
	伝染性紅斑	11	1.38	12	1.33	8	0.80	8	1.60	11	1.83			50	1.19	-8
	突発性発しん	4	0.50	3	0.33	5	0.50	4	0.80	2	0.33	1	0.25	19	0.45	1
	ヘルパンギーナ	13	1.63	9	1.00	13	1.30	1	0.20	1	0.17			37	0.88	12
	流行性耳下腺炎	2	0.25			4	0.40	4	0.80	1	0.17	2	0.50	13	0.31	2
	眼科	急性出血性結膜炎														
流行性角結膜炎						2	1.00							2	0.18	1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)											3	3.00	3	0.50	3
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											6	6.00	6	1.00	-1
	無菌性髄膜炎															0

■ は警報、■ は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

咽頭結膜熱 (五類定点把握対象疾患)

咽頭結膜熱は、数種のアデノウイルスによる急性ウイルス性感染症で、スイミングプールでの接触やタオルの共用により感染することもあるため「プール熱」とも呼ばれます。発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状がみられ、高熱が比較的長く(5日間前後)続くことがあります。小児に多い病気で、青森県の過去5年間の年齢別報告数では、1歳以下の割合が全体の約47%でした(図)。

治療法は、基本的に対症療法となります。ほとんどは自然に治りますが、吐き気、強い頭痛、激しい咳のときは、早めに受診してください。予防として、感染者との密接な接触を避ける、手指消毒の励行、タオルの共用を避ける、うがいを、などが大切です。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [咽頭結膜熱について \(厚生労働省 HP\)](#)

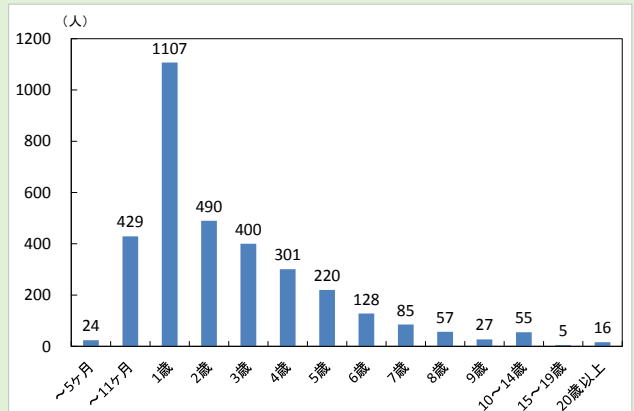


図: 青森県における咽頭結膜熱 年齢別報告数 (2014年~2018年)

咽頭結膜熱について



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前2人、三戸地方1人、五所川原1人（2019年計：128人）
- ・破傷風（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人（2019年計：2人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2019年計：17人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

A型肝炎患者（ふん便、7/4）・・・A型肝炎ウイルス IA型：青森市1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第25週～第28週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
25	つつが虫病1人 後天性免疫不全症 候群1人 梅毒1人 百日咳1人				つつが虫病1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人	
26		レジオネラ症1人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人 百日咳1人			
27	A型肝炎1人	梅毒1人	梅毒1人	つつが虫病1人		
28	百日咳1人		破傷風1人			

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患)（2019年第25週～第28週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
25	1			1		
26	2		2		1	
27	1		1	1		
28	1	2	1	1		

- ・第26週に上十三保健所管内で結核1人の届出がありましたので追加しました。
- ・第27週に五所川原保健所管内で結核1人の届出がありましたので追加しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第27週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	10888	3	50	1154	18	11	263	250	7	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病
累積報告数	1	49	7	80	161	68	2	1	23	2

分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	908	4	445	166	986	38	511	8	95	491

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	601	24	320	24	2047	250	3	3407	77	55

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	40	8538	1935	654	17

青森県（2019年第1週～第28週までの累計）

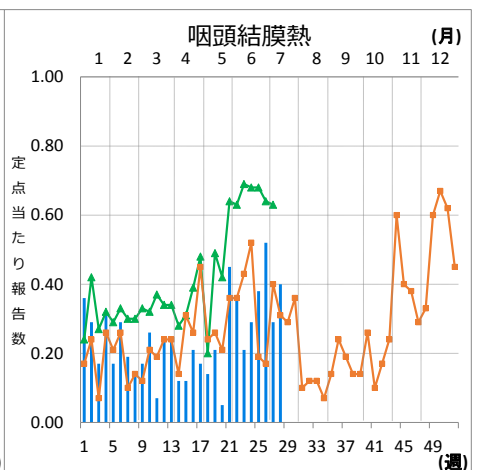
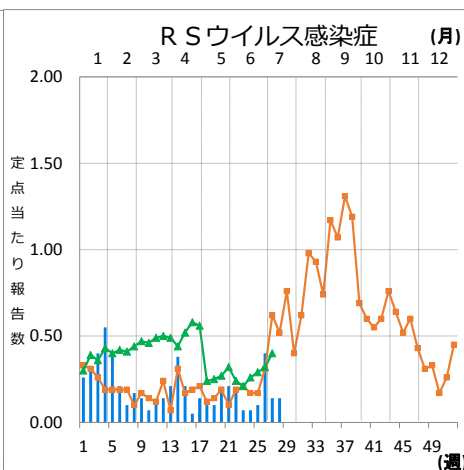
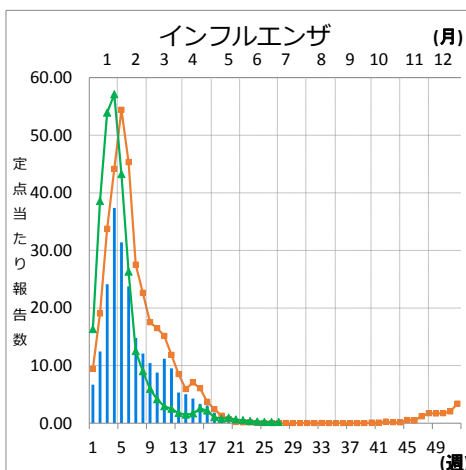
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	128	1	1	1	6	7	2	1	17	2

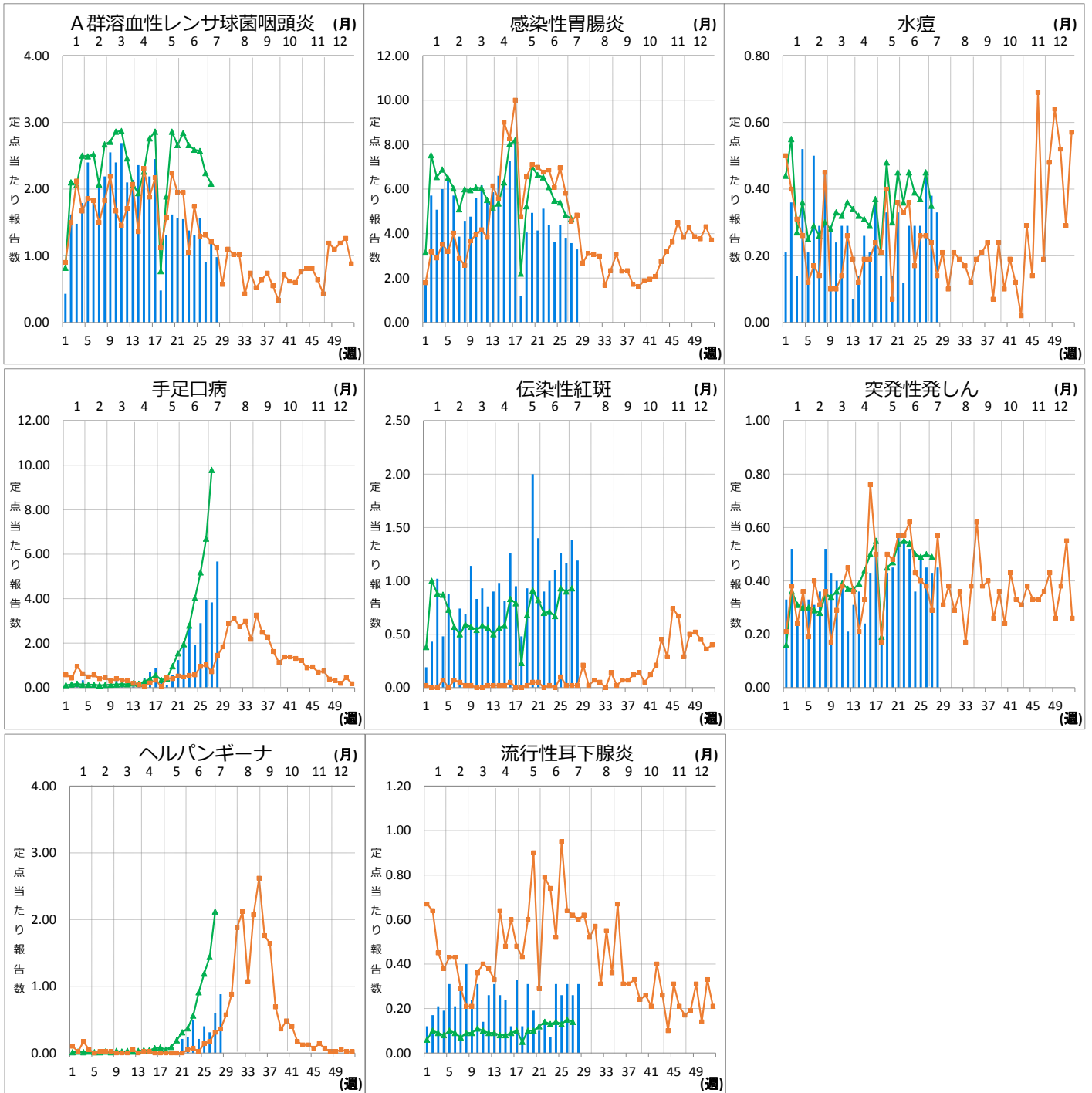
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	1	1	5	2	1	11	1	18	2	4

分類	五類
疾病名	百日咳
累積報告数	17

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第28週、ただし全国は前週）

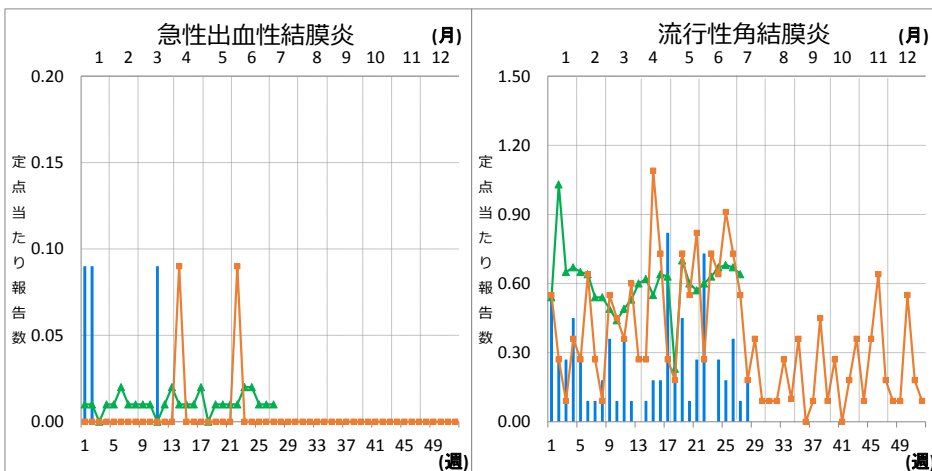
グラフの説明 ← は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





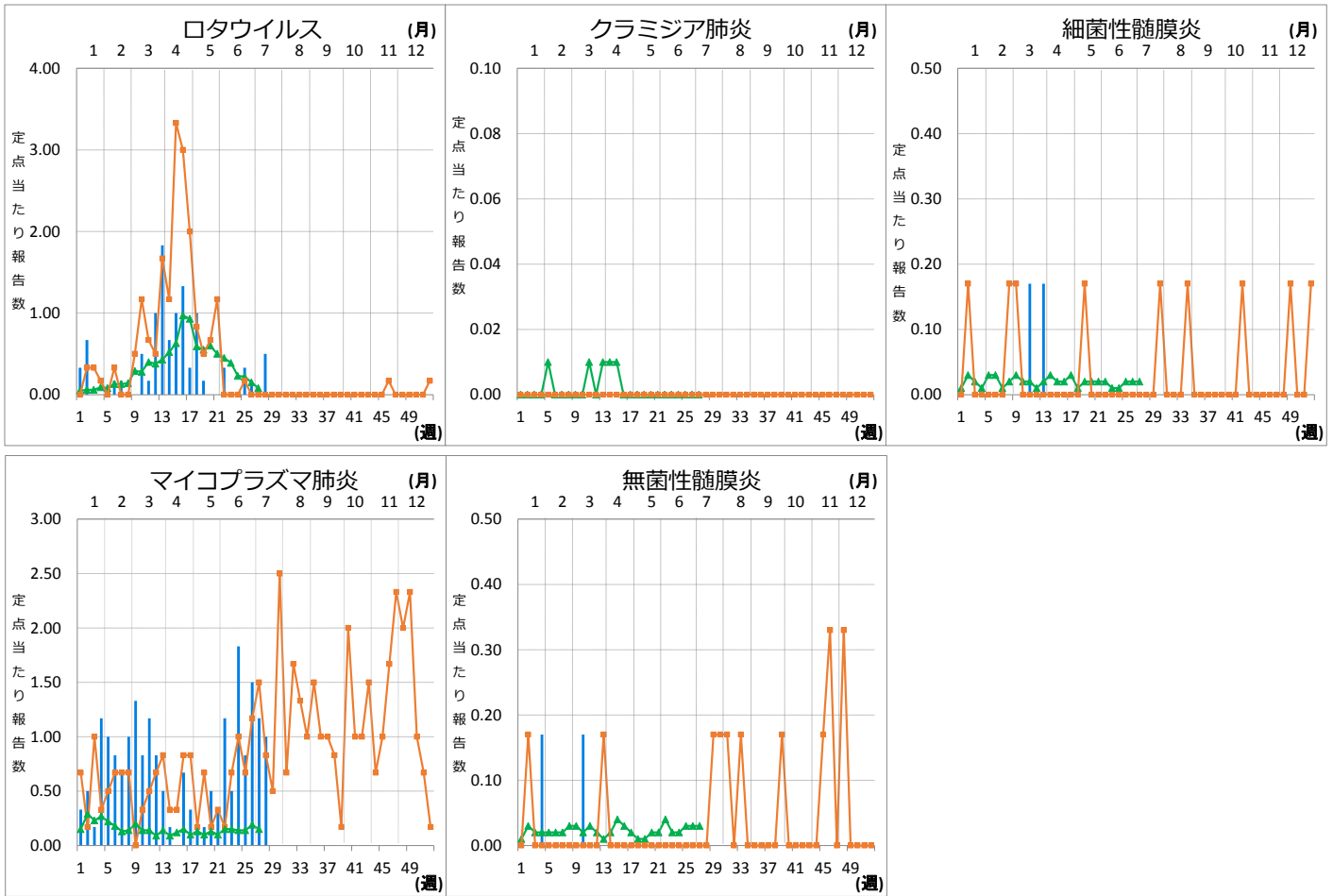
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第28週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ← 〓は2019年青森県、〓は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第28週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第28週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-21週	22-26週	27週 28週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	0	0	3
	発症者数	29	0	24	89	0	0	0	142
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	2	0	0	12
	発症者数	69	47	17	53	14	0	0	200
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	0	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	2	0	0	17
	発症者数	98	95	41	160	14	0	0	408